

由の時間を持ちたいと思います。

羽賀 一夫 君 本間茂夫さんの自宅で赤ワインをごちそうに成った事をせつなく思い出されます。ご冥福をお祈り致します。

阿部 勝子 君 昨日初めてメーカーキャップさせて戴きました。色々と良い勉強させてもらいたいありがとうございます。本間さんのめい福をお祈り致します。

久保 博 君 本間さんのご逝去に対し心より御冥福申し上げます。

駒形 実 君 本間会員の御めい福をお祈り致します。

梨本 清一 君 所用のため早退いたします。

今井 克義 君 北クラブの旅行24名の参加となりました。ありがとうございました。近キツーストのたちばなさんお世話になります。

山崎 勲 君

卓 話： 「午年生まれ」

大野 新吉（昭和17年3月30日生）

この度の突然の本間茂男会員のご逝去心よりご冥福申し上げます。20歳代の時は誰が50～60歳になるのか思いもよらず、只我武者羅に毎日をこなす事が精一杯で年など忘れ、気にも留めないで来まして気が付いてみると還暦を迎え、気持ちだけは若いのですがよくよく体に問うとやはり若い頃にはなかった変化が色々な面で起きております今日。今までは気にもしなかった自分の生まれた昭和17年の干支の午のことについて辞書をあれこれ引いてまとめてみました。

今年の干支は壬午（じんご）と言います。いわゆる壬（みずのえ）午の年です。

漢字源（辞書）によると壬は十干の9番に位置し陰陽（おんみょう）の五行には水にあたるものです。

日本の古代からの言葉に兄弟のことをえ・とと言います。壬のえは兄を意味し、とは弟を意味します。これで言いますと来年は癸（みずのと）未（ひつじ）です。

さて午ですが十二支の7番目に位し馬に当てたのは農民が覚えやすい様に、十二支に動物を配した、秦・漢の農暦の影響で馬とはなんの関係もない物です。時刻は今の正午及びその前後二時間位でしょうか。方角は南を指します。時季は陰暦5月北斗七星の柄の部分が南を指す為午をあてたものです。端午、午節と言います。今でいえば初夏の候とでもいいましょうか。又杵の様に上下に交差するその様を旁午といい人馬の縦横に往き交う事を意味し、又十二進法では時計と同じく前半が終わり後半が始まる位置にあって前後に交差する数の事を午と言います。下午、五午、日午、正午などがこれに当たると言います。そんな事を考えると今年は水豊かにして豊饒、人交流して進展を促す、より飛躍の年でありますように・・・・。

羽賀 一夫（昭和17年3月23日生）

馬車馬4人組の中の唯一のサラブレッドとっております、羽賀でございます。午について大野さんから蘊蓄がありました。こんなに内容があったとは今までも知りませんでしたし、いい勉強になりましたが、聞いたとたん忘れしました。後程又教えて頂きたいと思ひます。実は卓話は今回で4回目です。4回卓話に立った方はあまりいらっらないと思ひます。これは私の評判がよかつ

たんだと思っております。とは言うものの私事です当会社に昨日、今日と税務調査が入ってまして、勉強して発表しようと思っておりましたが気もそぞろで気持ちも向こうに行っています。あまり儲かっていない会社に、なぜ入ったのかと、ホコリみたいな会社でたたいも何も出ないのですが、たたくといっぱいでる会社がたくさんあるのに、なぜだろうと思っております。税務調査の話をちょっとしますと、女房は仕事もしていないのに、役員報酬を貰っています。出がけにこれは何ですかと聞かれてからしどろもどろです。皆さん、どう答えたらいいでしょうか。仕事してまずと言えいいのでしょうか？さて卓話に入らせて頂きます。評判の良かった3回目をご存じない方もいらっしゃるのではあらずじから入りたいと思います。表題は「私の履歴書」です。履歴書というからには、住所、学歴、職業、趣味となっております。実は卓話の度にその殆どが変わっております。現住所も生まれてから4回変わりました。今は東新保で地理的には三条の中心に位置していますが、道路が分断されていまして三条のケニアと言ってもいいと思います。仕事ですが、これまでに10種類の仕事をしてきました。生まれたときは下駄屋、父が亡くなり育ててくれた父は電気屋、私が独立してクレーンの仕事、ホイストクレーンです。其れまでの間、断熱材、電気温水器等様々な仕事をやりました。今のもう一つの仕事はハインエレベーターというエレベーターの点検をやっています。ホイストクレーンは娘婿に任せて、今はエレベーターの方をやっています。このエレベーターの話をするだけで1時間程かかります。もし時間の許す方は私をどこかに招待して頂き話させて頂ければ、面白いお話ができだと思います。エレベーターは日進月歩ですばらしい進歩を遂げています。皆さんは籠の中に乗りますからメカニズムを見ることがほとんど無いと思いますので少しお話しします。来年度台湾にできます500mの建物に付けるエレベーターは日本の東芝が受注しましたが、1分間に百数十mという速度です。普通に乗るエレベーターは10分の1ですから10m位です。時速に換算すると50~60kmです。500mを50数秒で上るそうです。500mを1分以内に上ると気圧の変化で耳がツーンとしますが気圧の変化がないようになっているそうです。それだけの速度ですからガイドレールが少しでも歪んでいると大変な振動があります。設計段階ではコインを立てて屋上まで倒れないそうです。ないことなのですが、ワイヤーが切れたり、ブレーキが故障したりすると急停止をしなければなりません。籠と重りがそれぞれ11トン合計22トンが井戸のつるべのようになっていますから、それを急停止させるにはガイドレールにがっちり食い込まなければならぬので、普通のタイヤが急ブレーキで止まるのではなくて、破壊するそうです。だから万が一があって急停止したエレベーターは使えないそうです。作り直さなければなりません。ですからそういうことは起こらないという設計の基になりたっています。趣味の話になりますが、私はスキーとゴルフと音楽と登山という数少ない趣味を持っております。これも2年に1回位大変な進歩です。前回スキーのカービングターンの話をしましたが、もっと変わらしてスキーをされる方はお判りだと思っております。手を伸ばして届く長さが普通でしたが、身長から10cmになり、昨年から出ているカービングスキーは身長よりも短いです。私の身長は171cmとごまかしていますが、165cm位のスキーです。前の2mのスキーと同じスピードが出ます。短いので振りやすく楽です。ゴルフはドライバーの性能が変わっています。ドライバーのフェイスがトランポリン効果といってボールを押し出すようになっています。飛距離を伸ばします。以前よりも10ヤード程伸びています。時間ですので終わ